

下 水 道 課

管 理 係

1. 多摩川上流流域下水道

流域下水道は、公共用水域の水質の保全をする大きな目的として、市町村が設置する公共下水道を接続して、広域的な根幹下水道であり、重要な役割りをする。

本年度の都が施行した事業費及び福生市の負担金はつぎのとおりである。

多摩川上流幹線	内径	2.0 m	延長	1次巻	3,207.5 m
				2次巻	1,789.6 m
処 理 場	用地買収				2,243m ²
	処理場建設				ばっ気槽
					1沈、2沈

事業費

管 渠	1,855,934千円
処 理 場	621,560 //
合 計	2,477,494 //

福生市の負担金

管 渠	87,764千円
処 理 場	20,223 //
前年度不足額及び本年度過納額	18,231 //
合 計	126,218 //

2. 都市下水路組合

青梅、羽村、福生地区都市下水路組合は、水質検査所の技術職員により、関連工場汚水の浄化のため、定例的あるいは、抜き打ち的に検査を実施し行政指導を行った。

なお、本年度は、長野県飯田市に行政視察を行った。

3. 多摩川上流流域下水道促進協議会

立川市、青梅、昭島、福生、武蔵村山、羽村、瑞穂の7市町により、昭和47年度発足した。協議会は、都の施行している流域下水道事業の早期実現と、経済的効率的事業推進を図るため、関係官庁に対して、請願、陳情を行った。

又、流域下水道事業市町負担金のうち、横田基地分にかかる負担金の要望を行ってきたが、

本年度に昭和47年度分として、福生市分14,045千円の決定をみた。

昭和47年度分にかかる負担割合にもとづく基地分

管			渠		処 理 場	
排除面積	基地面積	基地比率	市負担額	基地分	排除人口	市汚水量
918ha	329ha	35.8%	18,296千円	6,549千円	61,000人	27,000m ³
17	0	0	155	0		

(処 理 場)				合 計	
基地汚水量	基地比率	市負担額	基地分	市負担額	基地分
4,777m ³	17.6%	42,594千円	7,496千円	61,045千円	14,045千円

(注) 1. 管渠欄の上段 多摩川上流幹線

下段 残堀川幹線

2. 計画人口密度は 33人

3. 計画汚水量は 440ℓ

4. 福生市下水道条例

福生市の公共下水道の設置、管理及び使用について必要なことを定めた条例が、48年12月市議会にて議決され、公布された。

計 画 係

1. 福生市公共下水道計画

下水道は、本来近代都市の根幹的な施設であり、環境衛生の向上、河川や海水の汚濁防止に不可欠のものとし、しかも、排水が多摩川に注ぎ飲料水として使用されているものであり、水質保全のためにも、下水道施設の早急な整備が必要である。

そこで本市においても、多摩川左岸多摩川流域下水道の多摩川上流幹線、羽村幹線及び残堀川幹線の事業認可に伴い、流域関連公共下水道としての公共下水道の事業化を行って都市環境の整備を図るため計画を策定した。

計 画 の 概 要 (昭和48年度～昭和60年度)

項 目	数	置	摘 要
計画処理区域	991.4 ha		全区域自然流下
計画排水区域	953.9 ha		合流区域を除いた面積
計画処理人口	61,000人		流域下水道計画
下水排除方式	分流式	953.9 ha	
	合流式	37.5 ha	
家庭汚水量	日平均汚水量	360ℓ/日/人	} それぞれ地下水量 40ℓ含む
	日最大 "	440 "	
	時間最大 "	640 "	
降雨強度式	$I = \frac{5,000}{t + 40}$ (50mm/hr)		
流出係数	0.5		

第1期事業概要 (昭和48年度～昭和52年度)

項 目	数	置
予定処理区域 及予定排水区域	汚 水	131 ha
	雨 水	126.56ha
管渠の延長	汚 水	38,025 m
	雨 水	20,797 m

工 事 係

1. 公共下水道

多摩川上流流域関連福生市公共下水道事業計画に基づき、快適で衛生的な都市環境づくりを目指すためつぎの事業を行った。

(汚 水)

名 称	場 所	金 額	内 容
福生市公共下水道 南部第1処理区 314外2枝線布設工事 (その1)	牛 浜 地 内	千円 11,720	管渠布設 ϕ 250mm 400.80m ϕ 300mm 101.89m 人孔 20か所 汚水ます 55か所
福生市公共下水道 南部第1処理区 314外2枝線布設工事 (その2)	牛 浜 地 内	12,600	管渠布設 ϕ 250mm 399.40m ϕ 300mm 106.95m 人孔 20か所 汚水ます 54か所

(雨 水)

名 称	場 所	金 額	内 容
福生市公共下水道 雨水排水管布設工事 (その1)	大 字 福 生 地 内	千円 14,170	排水管布設 ϕ 450mm 88.3m ϕ 600mm 57.4m ϕ 700mm 320.4m 人孔 13か所
福生市公共下水道 雨水排水管布設工事 (その2)	大 字 福 生 地 内	12,520	排水管布設 ϕ 700mm 191.4m ϕ 800mm 113.1m ϕ 900mm 60.1m 人孔 8か所

2. 横田飛行場周辺排水路事業

横田飛行場周辺地域の水害を防止するため、つぎの事業を行った。

(中央幹線排水路新設工事)

名 称	場 所	金 額	内 容
中央幹線排水路 新設工事(その1)	大字福生地内	千円 113,485	工事延長 254.12m 内径 2000mm 人孔 5か所 推進工
中央幹線排水路 下の川改修工事(その2)	大字福生地内	77,166	工事延長 662.8m 開渠工 □ 3500mm×1800mm

(武蔵野幹線排水路工事)

名 称	場 所	金 額	内 容
武蔵野幹線 排水路新設工事 (第1工区)	大字熊川地内	千円 99,500	工事延長 313.8m 開渠築造工 □ 3600mm×6000mm
武蔵野幹線 排水路新設工事 (第2工区)	大字熊川地内	84,800	工事延長 280.0m 開渠築造工 □ 3600mm×6000mm
武蔵野幹線 排水路新設工事 (第3工区)	大字熊川地内	90,700	工事延長 310.0m 開渠築造工 □ 3600mm×6000mm

(本工事については、48～49年度の2か年事業である。)